

令和 2 年 11 月 30 日

第 534 号

横浜市立日吉台小学校

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

ひよびだい



寒さに負けず、高めよう、心と体

校長 玉置 恭美

早いもので、もう年の瀬を迎えようとしています。学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を継続しながら学習活動を行っています。マスク着用、うがい、手洗い、三密・人混みを避けること、日常生活ではソーシャルディスタンスに気を付けること、など学校で呼びかけを続けています。



子どもたちは天気の良い日は日光を浴び、休み時間に校庭で体を動かすことを実践しています。体力向上、自己免疫力を高めるためにも、まず、早寝早起き、朝ご飯です。最近、中休みや昼休みに、短縄跳びや長縄で遊んでいる子を多く見かけます。日吉台小学校の令和 2 年度の体育・健康プランには、「筋力、瞬発力の

向上を図るために、朝学習や体育の授業で縄跳び運動を行う」ということが記されています。昨年度の新体力テストの結果によると、日吉台小学校の児童は、持久力の向上が見られる一方、立ち幅跳び、反復横跳び等の運動では少し、改善が必要のようです。筋力、瞬発力をアップすべく、11 月から毎週水曜日の朝学習の時間に、低、中、高学年の順に縄跳びに取り組んでいます。学年ごとに「縄跳びカード」の技に挑戦しています。中学年の最高レベルは「あやにじゅうとび」だそうです。「できるよ！」と見せてくれた子がいました。多くの回数を跳ぶこと、スピードアップすることなどで、筋力や持久力、瞬発力が高まります。ぜひ、休日も含めて毎日取り組んでほしいです。

12 月 10 日は、世界人権デーです。日吉台小学校では 11 月 17 日から人権週間が始まりました。毎年、「横浜こども会議」では、子ども主体のいじめ事前防止の取り組みとして、児童生徒が主体となり、「誰もが安心して生活できるよう、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」を目指して話し合います。各学校ではクラスごとにその取組について話し合い、めあて(標語)をきめています。「相手のことを考える」ということばが一番多く、「自分がされて嫌なことは人にもしない」「あいさつをする」という内容も多くありました。「心の距離は近づけて人との距離は程よくあけよう」など、今年ならではの言葉も。



人権週間に、コロナ禍の中でも何かできる、と計画委員会が、「あいさつカード」であいさつの輪を広げる活動に取り組む日吉台小学校です。人の嫌がることをしないのは、もちろん、してもらって嬉しかったことを他の人にもしよう、とみんなが思えるような、あたたかい心の輪を広げていきたいと思います。